

和歌山だより

令和5年 第177号
(2023)



菜の花畑（新宮市）

菜の花の花言葉は「快活」「明るさ」です。よく晴れた空の青色と、一面に咲き誇る菜の花の黄色の対比はとても綺麗で、見る者に春の訪れを感じさせるとともに、心まで色鮮やかに明るくしてくれます。
(写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟)

CONTENTS

- 1 知事メッセージ p. 1
- 2 和歌山県政トピックス p. 2 ~ 11
- 3 お知らせ p. 12 ~ 16
- 4 ふるさと歳時記 p. 17



県民の皆さんの笑顔のために

県庁の仕事は「県民を幸せにすること」だと思います。幸せと言っても、ひとそれぞれに何が幸せかは違います。しかし、人は幸せな時には笑顔になるでしょうから、県民の笑顔をつくるのが私たちの目的です。

和歌山は課題先進県のトップランナーです。人口減少、高齢化、産業の空洞化、経済成長力の鈍化など日本全体が抱える課題の宝庫です。だからこそ、「実験の精神」で仕事をしていきます。教科書も参考書ありません。新しいやり方を試して、トライ&エラーで挑戦していくしかありません。

私が以前、働いていたトヨタ自動車では、毎日、改善運動が行われ、車の作り方や販売方法を変えていきます。ただし、よく失敗します。改善はそんなに簡単なものではありませんから。それでも、失敗した時に、上司は部下をしかりません。「ナイストライ！また、やり直そう。」で済ませます。県庁の中では、「前例がありません。」という言葉は禁句にしました。私たちの仕事は前例を作ることです。

私は、県庁では多様な人材、多様な働き方を求めて、年齢や性別にとらわれない自由な職場をつくっていきます。職員の皆さんには上司の顔色をうかがうのではなく、県民の皆さんの方に顔を向けてくれるようお願いしました。意見が違えば、知事の私に「これは違うと思う！」と堂々と言ってもらい、笑顔で協議していきます。

県民の皆さんの笑顔のために、これから県庁の職員と一緒に仲良く働いていきますので、どうかよろしくお願いします！

和歌山県知事 岸本 周平



1/31 記者会見にて

●トルコ共和国南東部における地震被害に対する災害義援金について

令和5年2月6日に発生したトルコ共和国南東部カフラマンマラシュ県パザルジュク市を震源とする地震により、犠牲となられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

1890年のエルトゥールル号事件以来、日本とトルコは困難が生じた時はお互いに助け合ってきました。この度、両国友好の原点の地である和歌山より、被災された方々のお力になりたいと考え、義援金を募る運びとなりました。

皆さんの温かい御支援をお願いします。

なお、皆さんから頂いた義援金は、駐日トルコ大使館に贈呈する予定です。

<トルコ共和国南東部での地震被害に対する災害義援金>

◎受入期間 令和5年2月7日から当面の間

◎義援金口座

金融機関	口座番号	口座名義
紀陽銀行県庁支店	普通 416665	和歌山県トルコ震災を支援する会
きのくに信用金庫本店営業部	普通 2682299	
和歌山県信用農業協同組合連合会本所	普通 0009019	

*当該義援金は、所得税法及び地方税法に規定する寄附金控除の対象にはなりません。

*手数料等の詳細は、県国際課ホームページをご覧ください。

(<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/d00212486.html>)

●インド共和国マハラシュトラ州及びデリーを訪問しました！

岸本知事は、2月1日から7日の日程で、インド共和国マハラシュトラ州及びデリーを訪問しました。マハラシュトラ州では、本県と同州の交流をより一層強化するため、2013（平成25）年10月に締結した覚書（2018（平成30）年1月更新）を再度更新しました。

また、本県が誇る観光地や企業をPRするためにプロモーション活動を行うとともに、参加企業とインド企業のビジネスマッチングを実施しました。

次頁よりインド訪問の概要をご報告します。

マハラシュトラ州との覚書更新

■日時：2月3日（金）17時00分～21時00分

■場所：インド門前広場

岸本知事とエクナート・シンデマハラシュトラ州首相は、マハラシュトラ州の入口と言われている「インド門」において、同州と2013（平成25）年10月に締結し、2018（平成30）年1月に更新した覚書について、経済、文化、観光、青少年やスポーツ分野における様々な交流を更に発展させていくことで合意しました。

また、シンデマハラシュトラ州首相からは、これまで培ってきた10年間の繋がりに感謝の意が述べられました。

さらに、デヴェンドラ・ファドナヴィス州副首相からは、高野山大学へのアンベドカール博士記念碑の設立等の10年間で築き上げてきた絆を再確認し、今後の更なる関係強化への期待が述べられました。

知事からは、ヒンドゥのシバ神は大黒天、ガネーシャ神は勧喜天として日本でも信仰されていることを紹介するとともに、和歌山県とインド・マハラシュトラ州との友好関係を更に深化させていきたいとお伝えしました。



覚書更新の様子



ファドナヴィス州副首相と知事

和歌山県レスリング協会・マハラシュトラ州スポーツ青少年活動総局覚書締結式

■日時：2月2日（木）19時00分～20時00分

■場所：州ゲストハウス

知事は、マハラシュトラ州のマハジャン・ギリッシュ青少年・スポーツ大臣を訪問し、スハス・ディワセ同州スポーツ・青少年活動総局長官とこれまでの交流で築きあげてきた繋がりを維持するとともに、両県州のレスリングの技術力向上について協力していくことを確認するなどの意見交換を行いました。



マハジャン青少年・スポーツ大臣と知事

知事からは、マハジャン大臣に来県いただき、スポーツ関連施設等を視察いただくことを提案しました。マハジャン大臣からは、レスリング交流を通じて、互いの技術力向上だけではなく、交友関係の強化を進めていきたいとの意が述べられました。

覚書締結に当たっては、谷口和樹和歌山県レスリング協会副会長、森下浩監督、スミット・マリック情報局長官、メガサ・サコレ同州議会議員らの立ち合いのもと、木村亘和歌山県レスリング協会会長とスハス・ディワセ同州スポーツ・青少年活動総局長官との間で署名式が行われ、選手のトレーニングや技術支援など双方向での交流を一層強化していくことで合意しました。



覚書締結後の写真撮影の様子

マンガル・プラバート・ロダ州観光大臣表敬訪問

■日時：2月2日（木）17時00分～17時30分

■場所：州政府庁舎

知事は、インド・マハラシュトラ州との覚書延長のためにご尽力いただいたロダ観光大臣と会談しました。

これまで築きあげてきた友好関係に感謝を述べるとともに、今後、ファムトリップを含めた経済交流を進めていくことで合意しました。



ロダ観光大臣と知事

アヌラグ・シング・タクール青少年・スポーツ大臣表敬訪問

■日時：2月6日（月）9時15分～9時45分

■場所：スポーツ大臣公邸

知事は、タクール青少年・スポーツ大臣と会談し、和歌山県レスリング協会とマハラシュトラ州スポーツ青少年活動総局の覚書締結の経緯について説明した後、更なるスポーツ交流、文化交流を進めていくことで合意しました。



タクール青少年・スポーツ大臣と知事

ラージクマール・ランジャン・シング外務副大臣表敬訪問

■日時：2月6日（月）10時15分～10時45分

■場所：外務省

知事は、シング外務副大臣を訪問し、和歌山県とインド・マハラシュトラ州との覚書更新について、現在までの交流の経緯及び今後の交流に関する意見交換を行いました。

同副大臣の出身地であるマニプール州は特に親日の地域であり、日本の地方政府と姉妹都市関係を持ちたいとの要望を頂きました。



シング外務副大臣と知事

ヴィネイ・サハスラブデインド文化関係評議会会長表敬訪問

■日時：2月6日（月）12時00分～13時00分

■場所：インド文化関係評議会

知事は、ヴィネイ会長を訪問し、高野山大学への仏像寄贈や本県へのインド舞踏団の派遣、高野山大学学生等関係者のインドへの招聘について感謝の意をお伝えしました。

ヴィネイ会長とはこれまで以上に、青少年交流や文化交流など双方向の交流を発展させていくことで合意しました。



ヴィネイ会長と知事

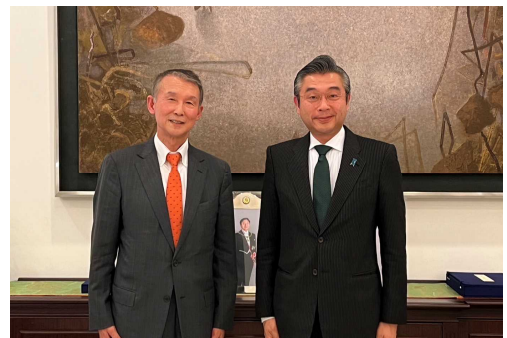
在インド日本国大使ブリーフィング

■日時：2月6日（月）17時00分～18時00分

■場所：在インド日本国大使公邸

知事は、在インド日本国大使公邸を訪問し、鈴木浩大使からインドの経済情勢、志向等について説明を受けました。また、今後のマハラシュトラ州との交流における、同大使館の更なる支援について快諾を得ました。

また、交流を進めることが難しいと言われていたインドにおいて、この10年間で積み重ねてきた本県とインドマハラシュトラ州との交流に賛辞をいただきました。



鈴木浩在インド日本国大使と知事

在ムンバイ日本国総領事ブリーフィング

■日時：2月2日（木）14時00分～14時30分

■場所：在ムンバイ日本国総領事公邸

知事は、レスリング団、相撲の文化交流団と共に在ムンバイ日本国総領事公邸を訪問し、深堀裕賢総領事からインドの経済情勢、ヒンズー教等について説明を受けました。また、今後のマハラシュトラ州との交流における、同総領事館の更なる支援について快諾を得ました。

また、レスリング団、相撲の文化交流団と同総領事との間で意見交換が行われました。



レスリング団の皆さんと知事

アジャンタ・エローラ視察

■日程：2月4日（土）～5日（日）

●アジャンタビジターセンター

マハラシュトラ州観光開発公社の案内で、オーランガバードにあるアジャンタビジターセンターを視察しました。同施設は JICA の事業で建設され、2014（平成 26）年に和歌山県世界遺産センターと覚書を締結しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で同センターの営業は休止していますが、リノベーションを経て早期再開が目指されています。



アジャンタビジターセンターにて

●マハラシュトラ州観光開発公社オーランガバード事務所

マハラシュトラ州観光開発公社オーランガバード事務所を表敬訪問しました。同事務所には、2014（平成 26）年から和歌山県事務所を設置しており、県職員の派遣再開について意見交換を行いました。



観光開発公社オーランガバード事務所にて

●エローラビジターセンター

マハラシュトラ州観光開発公社の案内で、オーランガバードにあるエローラビジターセンターを視察しました。新型コロナウイルス感染症の影響で同センターの営業は休止していましたが、G20 での要人招待のために急ピッチでリノベーションが進められていました。

●チョコレート製品製造大手の株式会社たにぐちと和歌山県、日高川町が進出協定を締結しました！

大阪市に本社を置くチョコレート製品製造大手の株式会社たにぐちが、この度、日高川町に工場を増設することとなり、同社と和歌山県、日高川町の三者で進出協定を締結しました。

1979（昭和54）年に設立された同社は、ケーキの装飾に用いるチ

ョコレートオーナメントなどの製造を手掛ける専門メーカーです。また、製品の品質・生産力・衛生管理に関して優れた能力を有し、チョコレートオーナメントにおいては国内シェアの実に60%を占めています。

1月17日に同社の谷口雅一代表取締役社長と久留米啓史日高川町長ご出席のもと開催した進出協定調印式では、谷口代表取締役社長から「地球に優しい製品で雇用を生み、地域貢献していきたい」と、県が推進する環境施策と方向性を一にした大変心強いお話をいただきました。



（左から）協定書を手にする岸本知事、
谷口代表取締役社長、久留米町長



チョコストローを手にする知事

環境と生活環境の良さを多くの企業にPRし、和歌山県への企業誘致を積極的に進めていきます。

今回増設される新工場は、2023（令和5）年7月に本格操業が予定されており、環境問題やSDGsの観点から、バイオマストレイ及びチョコストローの生産設備を導入して環境対応製品の内製化に取り組むとともに、今後3年間で10名の正社員雇用が見込まれています。

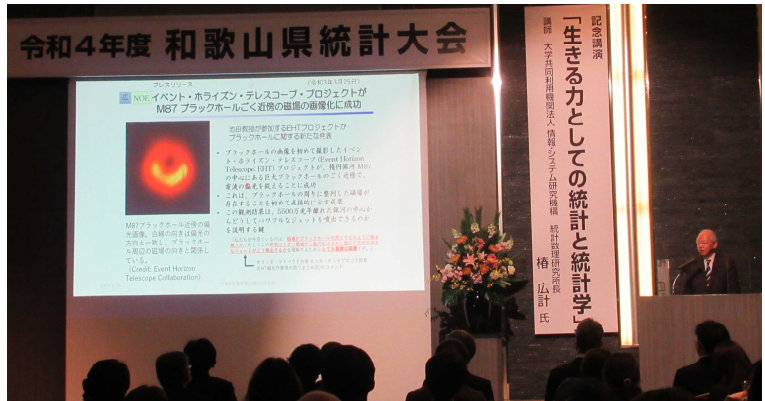
県では引き続き、和歌山県のビジネス

●令和4年度和歌山県統計大会を開催しました

県及び県統計協会では、統計関係者の士気高揚と統計思想の普及啓発を図ることを目的として、1月31日に「和歌山県統計大会」を開催しました。

式典では、長年にわたり統計業務に尽力された調査員や統計グラフコンクール入賞者の皆さんの表彰等を行いました。

総務大臣表彰を受賞された統計調査員にきちえこの仁木千恵子さんは、受賞者代表として、「時代の



記念講演の様子

移り変わりとともに日々の調査員業務が困難になってきている一方で、その苦勞が社会の役に立ち、世の中を動かす力になっていることを嬉しく思う」と述べられました。

また、大学共同利用機関法人情報・システム研究機構統計数理研究所のつばきひろ 樫広計え 所長から、「生きる力としての統計と統計学」と題し、統計的問題解決プロセスの社会課題解決への応用、統計学とデータサイエンスや人工知能との繋がり、統計を駆使できる人材育成手法などについて記念講演を行っていただきました。

県では、引き続き公的統計の重要性を県民に広く啓発するとともに、将来を担う児童生徒に対し、統計データに親しむきっかけ作りにも積極的に取り組んでいきます。



(写真左) 統計功労者として表彰された皆さん / (写真右) 統計グラフコンクール受賞の皆さん

■ 受賞者の皆さん

(敬称略)

総務大臣表彰

労働力調査	福地正和	和歌山市
労働力調査	道上裕子	和歌山市
小売物価統計調査	豊田千明	和歌山市
家計調査	高橋勢津子	和歌山市
令和3年社会生活基本調査	森井紀子	和歌山市
令和3年経済センサス-活動調査(調査員)	川口良子	広川町
令和3年経済センサス-活動調査(指導員)	石井まち子	有田市
各種統計調査	仁木千恵子	和歌山市
各種統計調査	團栗宣子	和歌山市

厚生労働大臣表彰

毎月勤労統計調査(協力事業所)	永山電子工業株式会社	紀の川市
毎月勤労統計調査(協力事業所)	株式会社産九中営業所	和歌山市
毎月勤労統計調査(協力事業所)	シークイーン海南	海南市
毎月勤労統計調査(協力事業所)	海南トヨー住器株式会社	海南市

厚生労働省政策統括官表彰

毎月勤労統計調査	道上裕子	和歌山市
毎月勤労統計調査	前原真由美	橋本市
毎月勤労統計調査	上田裕香	有田市
毎月勤労統計調査	鍋島亜弓	田辺市

知事感謝状

統計調査員	木下和代	九度山町
統計調査員	寺井仁子	広川町

〈記念品贈呈〉

令和4年春の叙勲

瑞宝単光章(各種統計調査員)	辻澤比佐子	和歌山市
----------------	-------	------

令和4年和歌山県知事表彰

統計調査	中村紀子	和歌山市
統計調査	仁木千恵子	和歌山市

統計グラフコンクール 和歌山県統計協会会長表彰

特選

第1部	永岡杏樹	和歌山大学教育学部附属小学校
	永岡宏樹	智辯学園和歌山小学校
第2部	嶋泰源	和歌山市立名草小学校
第3部	西野珠央	和歌山大学教育学部附属小学校
第4部	岸本彩乃	和歌山県立向陽中学校
パソコン統計グラフの部	西井颯杜	和歌山県立桐蔭高等学校

◇第70回統計グラフ全国コンクールにおいて、岸本彩乃さんと西井颯杜さんの作品が佳作に入賞しました。

入選

第2部	米地優介	海南市立亀川小学校
第2部	藤井かれん	和歌山大学教育学部附属小学校
第3部	和田乙葉	和歌山大学教育学部附属小学校
第3部	方村理乃	和歌山市立直川小学校
第4部	佐藤まのあ	和歌山県立向陽中学校
第4部	上田嶺紗	和歌山県立向陽中学校
パソコン統計グラフの部	北濱一仁	和歌山大学教育学部附属中学校
パソコン統計グラフの部	川島碧生	和歌山県立向陽中学校

●「わかやま産品商談会 in 大阪」を開催しました！

和歌山県内の農水産物・加工食品の販路開拓を目的として、1月20日、大阪マーチャンダイズ・マート(大阪府大阪市)において「わかやま産品商談会 in 大阪」を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となった本商談会には、販路拡大に意欲のある県内事業者74社が出展し、県内外の食品卸、外食産業、百貨店、スーパー小売業関係者など551名(246社)の来場者の皆さんに対して、本県自慢の魅力あふれる商品を売り込み、実りある商談が展開されました。



ブースでの商談の様子



各ブースをまわり激励する知事

また、会場内には、それぞれの事業者の新商品をはじめ、GI和歌山梅酒を紹介するブースを特設するなど、よりバイヤーの皆さんに注目していただけるような工夫を行うとともに、岸本知事が各出展事業者ブースを巡回して激励しました。

県では、出展事業者の皆さんに対して、本商談会を踏まえたフォローアップを実施するとともに、和歌山県産品が海外のマーケットにも一層雄飛できるように積極的に支援していきます。

なお、出展事業者や主な取扱商品につきましては、県食品流通課ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

< 県食品流通課ホームページ >

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/kokunai/d00211632.html>



令和3年度完成工事 和歌山県優良工事表彰式を開催しました

県では、公共工事の品質を確保し、良質な社会資本を整備するため、県内建設事業者の技術力の向上に取り組んでいます。

その一環として、県が発注した建設工事のうち、特に優秀な工事を施工した県内建設事業者及び担当した技術者を2004(平成16)年度から表彰しており、今回で19回目となります。

1月30日に開催した表彰式では、令和3年度に完成した工事のうち、優秀な技術と適正な施工により、品質、出来ばえ等が優れ、他の模範となる7者の皆さんに表彰状をお贈りしました。



受賞者の皆さんと知事



受賞者代表で謝辞を述べる
小森代表取締役

受賞者を代表して、株式会社小森組こもりせいごうの小森正剛代表取締役は「今回の受賞は我々にとって励みとなり、これ以上に頑張ろうと決意を新たにしました。今回の受賞に甘えることなく、安全第一をモットーに更なる品質の向上を目指し、未来でも必要とされる企業であり続けたい」と力強く話されました。

皆さんのこれまでの御努力に敬意を表しますとともに、将来の担い手となる若手技術者にも、その優れた技術を継承していただくことで、建設業をより魅力あるものとし、本県の発展に一層ご尽力いただくことを期待しています。

■受賞者一覧

(敬称略／施工会社名は五十音順)

施工会社名	代表者名	担当技術者名
木下建設株式会社 (有田市)	代表取締役 木下 英文	田中 行持
近畿電設工業株式会社 (和歌山市)	代表取締役 吉川 幸夫	植田 昌之
株式会社小森組 (串本町)	代表取締役 小森 正剛	近藤 和樹
手嶋建設株式会社 (田辺市)	代表取締役 手嶋 匡彦	寺本 夏貴
株式会社中田組 (紀美野町)	代表取締役 中田 弘信	中田 弘信
株式会社中村建設 (日高町)	代表取締役 中村 昭	楠山 和久
株式会社村嶋組 (紀の川市)	代表取締役 村嶋 光夫	村嶋 敏夫

●令和3年産みかんの産出額7年連続日本一！

県では、2015（平成27）年度からJAグループと連携し、光センサー選果機を利用して一定基準以上の糖度を確保する「みかんの厳選出荷」に取り組んでいます。

令和3年産みかんは、裏年まわりで着花量は少なかったものの、秋以降の降雨が少なかった影響により優良果実の着果量が確保され、更に厳選出荷を徹底した結果、産出額278億円で、7年連続日本一となりました。

今後も、厳選出荷の徹底に加え、優良品種への改植や土の表面をシートで覆って雨水を防ぐ「マルチ栽培」など、高品質生産を推進し、みかんの販売単価向上を図りながら、産出額1位を維持していきます。



マルチ栽培の様子

みかんの産出額（*）（令和3年産）

<参考> みかんの生産量（令和3年産）

第1位	和歌山県	278億円
第2位	愛媛県	271億円
第3位	静岡県	230億円

第1位	和歌山県	147,800t
第2位	愛媛県	127,800t
第3位	静岡県	99,700t

*農林水産省生産農業所得統計

●楽天トラベル2022年 年間人気温泉地ランキングにて白浜温泉が『全国第5位』を獲得しました！

この度、楽天トラベルサービス株式会社（本社：東京都世田谷区）が運営する旅行予約サービス「楽天トラベル」は、2022（令和4）年1月1日～12月31日の1年間で楽天トラベル利用による宿泊人泊数（＝宿泊人数×泊数）が最も多かった温泉地のランキングを発表し、「白浜温泉」が『全国第5位』を獲得しました。



白浜温泉 崎の湯

県では、温泉をはじめ県内各地に点在するスポットを楽しみ・学びながら周遊することができるモバイルスタンプラリーや、全国旅行支援「わかやまりフレッシュプランSワイド2nd」等の各種企画、南紀白浜空港の利用促進による首都圏からの誘客等、積極的な観光振興施策を展開しています。

また、白浜温泉が全国第5位に選ばれたことを契機として、白浜町をはじめ、県内各地にある観光資源の魅力をより一層全国に発信するとともに、更なる誘客・周遊促進を図っていきます。

順位	都道府県	温泉地	順位	都道府県	温泉地
1位	静岡県	熱海温泉	4位	群馬県	草津温泉
2位	大分県	別府温泉	5位	和歌山県	白浜温泉
3位	栃木県	那須温泉	(対象期間：2022年1月1日～12月31日)		

(出典：<https://travel.rakuten.co.jp/mytrip/ranking/onsen>)

●農業と福祉の連携を促進する和歌山県公式農福連携応援サイト「ノウフクわかやま」を開設しました！

県では、農業と福祉が連携し、障害のある方の農業分野での活躍を通じて、障害のある方の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する農福連携の取組を発信するウェブサイト「ノウフクわかやま」を開設しました。



ウェブサイト「ノウフク和歌山」

本サイトには、農福連携に取り

組む県内の障害福祉サービス事業所や好事例を掲載しており、この取組を多くの方に幅広く知っていただくとともに、農福連携に関心がある障害福祉サービス事業所等の方にも参考となる内容となっています。

県では、本サイトを通じて、農福連携のメリット等を広く発信し、農業と福祉の連携促進に取り組みます。

<ウェブサイトの特徴>

- 農福連携に取り組む県内の障害福祉サービス事業所や取組事例を紹介
- 農福連携に取り組みたい障害福祉サービス事業所は、ウェブサイトを通じて情報発信や相談が可能
- 農福連携に取り組みたい農業者は、依頼したい農作業についてマッチングの依頼が可能

<「ノウフクわかやま」URL>

<https://noufuku-wakayama.jp/>

ノウフクわかやま

検索

●「日本くだものがたり」シリーズ第1弾！アサヒ飲料(株)から『三ツ矢日本くだものがたり 和歌山県産南高梅』が発売中です

県では、わかやま産品ブランドの向上と県産食材の認知度向上を目的に食品メーカーへの県産品活用に向けた提案活動を行っています。

去る1月31日、アサヒ飲料株式会社（本社：東京都墨田区）から、収穫量日本一の和歌山県産「南高梅」果汁、ピューレ等が使用された飲料が発売されました。当商品は、みなべ町で梅の栽培方法を保全・進化させる取組を行っている、20～40代の若手梅農家で構成される「みなべ梅郷クラブ」と連携して開発された商品です。



梅加工場視察の様子

また、商品発売に併せて、日本のくだものを未来につなげる地域共創の取組の一環として、「三ツ矢日本くだものがたりワークショップ」が開催されました。

ワークショップに参加した県立南部高等学校食と農園科の生徒たちは、「みなべ梅郷クラブ」の梅園地や加工場のほか、同クラブが手掛けた「うめ産地を未来につなげる伐採班の活動」「守れ！ニホンミツバチ保全大作戦！」の現場を訪問し、



ワークショップの様子

産地を守る取組について理解を深めた後、全国へ向けて地域の思いを発信するためのアイデアを考えるワークショップに熱心に取り組んでいました。

県では、今後も食品メーカーと協力した商品開発を推進し、和歌山県産品の魅力を発信していきます。

<商品特徴>

「おいしい梅づくりは元気な梅の木から」をモットーに南高梅の生産に取り組むみなべ梅郷クラブを取材し、梅本来の味わいを再現。中味は和歌山県産の南高梅果汁をベースに、南高梅ピューレ、発酵南高梅果汁、南高梅エキスを配合した、南高梅にこだわった炭酸飲料です。複数の南高梅由来の原料により、梅の芳醇な香りと自然な味わいが楽しめます。



●ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）のご案内

ふるさと和歌山応援寄附は、「ふるさと和歌山を大切にしたい」、「和歌山を応援したい」という思いを具体化するための制度です。これまで多くの御寄附と力強い応援メッセージを頂いております。

県では、ふるさと和歌山応援寄附を「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』の保全や活用」や「がん対策の充実」などの分野で活用させていただいております。

御寄附につきましては、申出からクレジット決済等までを同時に行うことが可能なふるさと納税総合サイトをご利用ください。

また、和歌山県外にお住まいで1万円以上の御寄附をいただいた方には、和歌山県優良県産品（プレミアム和歌山）として県が認定した商品等の中から、事業者の協力を得て選定した返礼品の中から1品をお選びいただけます。和歌山県が誇る優良産品を是非ご堪能ください。

ふるさと和歌山応援寄附についての詳細は、和歌山県のホームページ上の「ふるさと和歌山応援サイト」に掲載しています。

これからも、ふるさと和歌山応援寄附にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ふるさと和歌山応援サイト(和歌山県へのふるさと納税)

「ふるさと」と聞いてみなさんが想像するものは何でしょう。
和歌山県では、「元気な和歌山」を創造していくため、さまざまな施策の推進に取り組んでいます。
ぜひ、皆様も寄附を通じてふるさと和歌山を応援してください。



ふるさと和歌山応援サイト

検索

各ポータルサイトのQRコードはこちら



ふるさとチョイス



ふるなび



ANAのふるさと納税



ふるラボ



JALふるさと納税

***** ふるさと和歌山応援寄附（ふるさと納税）に関しましては *****

★お問合せ・申込窓口★

〒640-8585

和歌山市小松原通一丁目1番地

総務部総務管理局税務課

担当 棚野、池田、小弓場

電話 073-441-2186(直通)

FAX 073-423-1192

E-mail: furusato-ouen@pref.wakayama.lg.jp

★お問合せ窓口★

〒102-0093

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館12階

和歌山県東京事務所

担当 前

電話 03-5212-9057

FAX 03-5212-9059

●ふるさと和歌山応援寄附を活用して行う県の取組

- ①新型コロナウイルス感染症対策
- ②生涯スポーツ・文化の振興
- ③子供たちの教育環境の充実
- ④がん対策の充実
- ⑤犬・猫の殺処分ゼロを目指す活動への支援
- ⑥世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全や活用
- ⑦南紀熊野ジオパークの推進
- ⑧地元企業への就職を促進する奨学金返還支援
- ⑨学校図書館や県立図書館の蔵書の充実
- ⑩わかやまの美しい海づくり
- ⑪わかやまの文化財の保護
- ⑫大切なふるさとの森を守り育てる
- ⑬わかやまのナショナル・トラスト
- ⑭わかやまの農林水産業の振興



皆さまからいただいた寄附金の成果につきましては、「ふるさと和歌山応援サイト」などで報告させていただきます。

■寄附金控除の手続きについて（ワンストップ特例申請のご案内）

地方公共団体への寄附（ふるさと納税）については、税制上の優遇措置があります。寄附金額のうち、自己負担額の2,000円を超える部分について、一定限度額まで、原則として所得税（復興特別所得税を含む）及び個人住民税から全額が控除されます。

寄附金控除を受けるには、所得税の確定申告又はふるさと納税ワンストップ特例制度の申請が必要です。

*ワンストップ特例申請の場合は、所得税の軽減相当額を含め、個人住民税からまとめて軽減を受けることになります。

和歌山県では、ワンストップ特例申請の手続きを、より簡単・便利に行えるよう完全オンラインでのサービスを提供しています！

マイナンバーカードをお持ちの方は、紙のワンストップ特例申請書・確認書類の提出は不要となり、「自治体マイページ」から即座に申請を完結させることが可能です。

- *申請にはデジタル庁提供のマイナポータルアプリが必要です。
- *自治体マイページとは、ふるさと和歌山応援寄附に寄附したふるさと納税に関する情報を一元管理できる寄附者個人の専用ページです。
(自治体マイページは、株式会社シフトセブンコンサルティングが提供するサービスです。)



寄附金控除の手続きやオンラインワンストップ特例の詳細については、「ふるさと和歌山応援サイト」内「寄附金税制について」のページをご確認ください。



イベント情報（3月上旬～3月下旬）

***新型コロナウイルス感染症の影響等により、規模の縮小や中止となる場合があります。最新の情報は、各主催者へお問い合わせください。**

開催日・時期	行事名	場所	問い合わせ先
3月上旬	ケンケンかつお味覚祭り	すさみ漁港他 (すさみ町)	すさみ町観光協会 0735-34-3200
3月中旬	紀州湯浅のシロウオ祭り	島之内商店街 (湯浅町)	湯浅町シロウオまつり 実行委員会 0737-63-2525
3月下旬	桜・舞・道成寺	道成寺 (日高川町)	おいでよ！日高実行委員会 0738-22-2041
3月下旬	和歌浦天満宮大祭	和歌浦天満宮 (和歌山市)	和歌浦天満宮 073-444-4769
3月下旬	ホエールウォッチング 始まる	那智勝浦町	南紀マリンレジャーサービス 0735-54-0725

自然・風物情報（3月上旬～3月下旬）

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
3月上旬	あまご漁解禁	上湯川 (有田川町) 古座川 (古座川町)	有田川漁協 0737-52-4863 古座川漁協 0735-72-3800
3月中旬	日本一の生産量スターチスの出荷最盛期	御坊市	JA 紀州 0738-22-2480
3月下旬	ウラシマソウ開花	切目神社 (印南町)	切目神社 0738-43-1181
3月下旬	ワカメ漁最盛期	加太漁港 (和歌山市)	加太漁港協同組合 073-459-0062

～編集後記～

和歌山では、寒さの中にも陽ざしの暖かさが感じられるようになりました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今月も「和歌山だより」をご覧くださいありがとうございます。

しばらくしますと、全国各地で桜の開花宣言が北上していきます。心待ちにされている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。では、この桜のつぼみはいつできるかご存じですか。

この時期になると幼い頃に大人が話していたことを思い出します。桜のつぼみのもとである「花芽」は、夏までに形成され、秋にはいったん「休眠」状態に入るそうです。この「花芽」が眠りから覚め、開花へ向けて本格的に成長を開始するには、冬の寒さにさらされなければならないそうです。そして眠りから覚めた「花芽」は、早春の気温上昇とともに膨らんで開花していきます。

春のわずかなひとときに美しく花開くために、桜は前年の夏から準備をし、「厳しい冬」を乗り越えて「春の開花」を迎える、このお話に私は度々、元気と勇気をいただいています。

長い人生、暗くて寒い時期もあることでしょう。そのような中でも前向きに、何事も準備を怠らず、蓄えた力を旬に発揮する、この桜のように生きていきたいと思っています。自分が置かれている現実も、理不尽な思いもすべて成長するための大切なレッスンと受け止められると前向きな気持ちになれるから不思議です。

春がすぐそこまで来ていますが、まだまだ寒い日もあります。みなさま、くれぐれもお身体、ご自愛くださいませ。



知事室 秘書課長 西山 雅美

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんでいただけますので、是非ご覧ください。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせください。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供ください。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/010500/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」
の発行以外の目的には、使用いたしません。



2023年（令和5年） NO.177

和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2026